



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 12. 13(火)
No. 36
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成
～「生きる力=どうにかする力」を育む教育活動を通して～

私たちにできるSDGsを！フードドライブ・募金へのご協力ありがとうございました

12月5日（月）～9日（金）に「泗水小フードドライブ」を実施しました。「食品ロスをなくし、十分な食べ物がなく困っている人たちを支援したい」と、5～6年生の実行委員会が企画・実施しました。多くの保護者や地域の皆様に食品を提供していただき、本当にありがとうございました。また、泗水地区の民生委員・児童委員協議会の皆さんにも、早朝から仕分けなどご協力いただきました。12月7日（水）付けの熊日新聞でも取り上げていただきました。集まった食品は、本校地域学校協働活動推進員の茶木谷さんのご協力で、フードバンクを通じて子ども食堂などに配られます。



たくさんの食品が集まりました！泗水支所、JAのご協力もいただきました

また、11月14日（月）～18日（金）には、本校児童会ボランティア委員会の呼びかけで「赤い羽根共同募金」を行いました。皆さんの善意で30703円が集まり、菊池市社会福祉協議会へお渡ししました。

いずれの取組も、泗水小における「SDGs（持続可能な開発目標）」の実践の一環で、児童の自主的な活動として取り組んだものです。「小学生の自分たちも、社会や人々のために貢献できるんだ」という自己有用感を育てられるよう、児童自らが考え、主体的に行動する機会をもっともっと増やしていきたいと思いました。

校内人権集会を開催しました！

12月8日（木）、児童会なかまづくり委員会の進行で、オンラインで各教室をつないで開催しました。なかまづくり委員会が行ったアンケート結果を発表した後、泗水小のみんなが安心して登校できるようにするために、3つの宣言「①友達の気持ちを考えた行動をします」「②ちがいを認め合い助け合います」「③名前の後には『さん』をつけて呼びます」を全校で確認しました。各学年からは、人権旬間に学習したことや各学級の課題について話し合ったことなどを発表しました。自他ともに人権が大切にされ、みんなが安心して学べる泗水小を目指して、人権学習や今回の集会で学んだことを日常生活での実践に生かしてほしいと思いました。

☆校長室から独り言33☆

リフレーミングで物事をポジティブに！

水が半分入ったコップがあります。「半分しかない」と思いますか？それとも「半分もある」と思いますか？水の量という事実を変えることはできなくても、その事実をどう解釈するかで感じ方は大きく変わります。

また、発明王エジソンの有名な言葉です。「私は失敗したことがない。ただ、1万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ。」エジソンは「うまくいかなかったこと」を失敗したと捉えてはいません。そのおかげで成功することができたと言っています。物事をポジティブに捉えることで、見え方が変わり、よりよい心の状態をつくることができます。

リフレーミングは、そのまま子育てに生かすことが可能です。それによって、子どもの自己肯定感を高めることができます。次のようなお子さんの性格をリフレーミングしてみましょう。（下記参照）

- ①優柔不断 ②自分勝手 ③能天気 ④投げやり ⑤心配性 ⑥おおざっぱ

自己肯定感を高めるためには、子どものありのままを受け入れ、プラスの声かけをしてあげることが大切になります。「何かプラスを見つけなければ」と表面だけでリフレーミングするのではなく、心からプラスの側面に目を向けるようにしていきましょう。

⑦執事しない ⑧執事しない ⑨執事しない ⑩執事しない ⑪執事しない ⑫執事しない ⑬執事しない ⑭執事しない ⑮執事しない ⑯執事しない ⑰執事しない ⑱執事しない ⑲執事しない ⑳執事しない ㉑執事しない ㉒執事しない ㉓執事しない ㉔執事しない ㉕執事しない ㉖執事しない ㉗執事しない ㉘執事しない ㉙執事しない ㉚執事しない ㉛執事しない ㉜執事しない ㉝執事しない ㉞執事しない ㉟執事しない ㊱執事しない ㊲執事しない ㊳執事しない ㊴執事しない ㊵執事しない ㊶執事しない ㊷執事しない ㊸執事しない ㊹執事しない ㊺執事しない